



第49回 京の冬の旅

非公開文化財特別公開

妙顕寺

平成27年1月10日(土)～3月18日(水)

受付時間

午前10時～午後4時(受付終了)

公益社団法人京都市観光協会

みょうけんじ 妙顕寺

鎌倉時代、日像上人が京都初の日蓮宗道場として創建した大本山。伽藍の中心には、天井に信徒の家紋をあしらった総檜造の荘厳な本堂が建つ。琳派を代表する尾形光琳の屏風絵を元に作られたという「光琳曲水の庭」、客殿前の「龍華飛翔(四海唱導)の庭」、孟宗竹の坪庭と、風情ある三つの庭が残る。光琳筆「寿老松竹梅三幅対」、江戸琳派の祖・酒井抱一筆「観世音菩薩像」など琳派の絵画のほか、狩野山楽筆「楼閣山水図」屏風など寺宝も特別展示される。

※特別展示の寺宝については、期間中展示替えが行われます。

【拝観についてお願い】

1. 拝観・写真撮影は係員の指示に従ってください。
2. 文化財には手や荷物がふれないようにお気をつけください。
3. 飲食・喫煙は禁止されています。
4. 定められた拝観時間以外は入場できません。
5. 本券で1名様限り、拝観いただけます。



— 四海唱導とは —

当山が天皇から賜った綸旨(天皇の意を表す公文書)です。世界中のあらゆる人々を法華經の教えに導き、その功德によって人々を救うという意味が込められています。法華經の功德はお釈迦さまの功德でもありません。ご朱印めぐりをされている皆さまにもどうかお釈迦さまの功德がありますように…

